

「大阪府介護・福祉人材確保戦略 2023 <中間見直し版：第3章>」の概要

- 平成 29 年 11 月、少子高齢化の進展により深刻化する人材の不足に対応するため「大阪府介護・福祉人材確保戦略」を策定。
令和 5 年 3 月に、その後の人材確保状況や国制度の改正を踏まえ見直しを行い、現行の「大阪府介護・福祉人材確保戦略 2023」（取組期間は令和 5 年度～令和 9 年度の 5 年間）を公表。
- 昨年度、介護・福祉人材をとりまく環境が大きく変動してきたこと、また、現行戦略の中間年度であることから、大阪府・介護福祉人材確保戦略検討分科会において有識者等からご意見をいただき、中間見直しを実施。



1. 中間見直しの考え方

- 現行戦略下における多くの事業で一定の実績を出しているため、**3つの方向性は継続**。
- しかしながら、今後も更なる人材不足が予測されていることから、より効果的な事業推進をめざすため、人材確保という漠然とした高い目標だけでなく、**現場で実感できる具体的な成果（アウトカム）を分かりやすく示し、関係者間の認識共有と連携促進を図る**。

2. <中間見直し版：第3章>の概要

- 重点項目 1** 福祉のしごとの魅力発信とニーズに合わせた参入支援
特に若年層に対する「福祉のしごと」の魅力発信等の取組による新規参入促進
- 重点項目 2** 外国人介護人材の受入れ・定着支援
外国人介護人材が介護・障がい福祉の分野で活躍できるよう、受入れと定着を支援
- 重点項目 3** 生産性向上・保育 DX の推進による職場環境の改善と多様な働き方の実現
職員の業務負担軽減や多様な働き方の導入等、労働環境の改善による人材の定着促進

<中間見直し版：第3章>の全体像

方向性	取組項目	主な取組内容
(1) 参入促進	①福祉のしごとの魅力発信とニーズに合わせた参入支援 重点 1	・「福祉のしごと」の魅力発信 ・双方のニーズに合わせた参入支援と就職支援
	②外国人介護人材の受入れ・定着支援 重点 2	・外国人介護人材の受入れ支援 ・外国人介護人材の就労・定着支援 (★1)
	③これからを担う介護・福祉人材を育む	・資格取得等に向けた環境整備 ・介護福祉士養成施設の府域における役割
(2) 労働環境・ 処遇の改善	①生産性向上・保育 DX の推進による 職場環境の改善と多様な働き方の実現 重点 3	・生産性向上・保育 DX の推進 ・多様な働き方の導入支援 (★2) ・働きやすい環境づくり
	②処遇の改善に係る国への要望	・国への要望
(3) 資質の向上	①ゼロからの挑戦を支える体制の構築	・基礎的研修の実施 ・入職後の資格取得等支援
	②専門性の向上によるサービスの充実	・専門性を高める人材育成 ・キャリア実現に向けた支援

中間見直しで追加された主な視点

- (★1) 外国人介護人材の定着支援
外国人介護人材がより長い期間日本で働けるよう、介護福祉士国家資格の取得に向けた学習支援（日本語支援のあり方等）の検討
- (★2) 生産性向上・保育 DX の推進
テクノロジーの活用等による現場の業務改善を図り、働きやすい職場環境づくりを進める